

技術士協同組合

【テーマ】 戦略的なインフラマネジメントを担う自治体の体制の確保 / スモールコンセッションの推進 / グリーン社会の実現 / その他（ ）

【対象施設】 道路 / 橋梁 / 公園 / 上下水道 / 河川 / 港湾 / 遊休施設 / その他（ ）

技術職員不在の自治体に適した包括的民間委託手法(1/2)

【事業方式】 コンセッション / その他のPFI / 包括的民間委託 / その他（ ）

千葉県柏市の「柏市公共下水道管路施設包括的予防保全型維持管理業務委託」における取り組み方（要求水準書、契約書）をモデルとして、橋梁や道路等の老朽インフラ対策（点検・調査、更新・補修工事の設計と施工）に向けて、自治体職員が現場に赴く必要が殆ど無く、費用対効果に優れた包括的民間委託の手法を提案します。

①提案によって解決することができる課題のイメージ

橋梁や道路等の老朽インフラ対策として、自治体が単年度契約により専門業者に委託している点検・調査の実施、更新・補修工事の設計と施工については、個々の発注手続きや発注後の監督・検査の実施に、自治体の担当職員は相当の時間と労力を費やしています。また、設計結果の検査や、施工の監督と検査には、土木の専門知識が欠かせません。ところが、全国の約半数の自治体では土木系職員が5名以下であり、約1/4の自治体では土木系職員が不在です。このような**人材不足が、自治体の財政難と相まって、老朽インフラ対策を十分に進められない主因**となっています。

そこで、「②提案内容」に示す包括的民間委託の手法により、**土木系職員が不在の自治体でも橋梁や道路等の老朽インフラ対策を、常に競争原理を働かせて費用対効果に優れた民間事業者を選定することによる財政難対策を講じつつ、的確に推進できる体制が確保できます。**また、この手法は、自治体の規模や立地条件などを問いませんので、どの自治体でも各種の老朽インフラ対策の推進に用いることができるものです。

②提案内容

提案する手法は、次の三つの基本的な取り組み方から成り立っています。

- (1) 一つ目は、老朽インフラ対策の発注者である自治体が、個々の対策の取り組み方の詳細を示して受注者に実施させるのではなく、**自治体は老朽インフラ対策の受注者である民間事業者に対策の大枠を示して、取り組み方の詳細は受注者が企画立案して自治体の承認を得て実施する**というものです。
- (2) 二つ目は、老朽インフラ対策の受注者となる民間事業者を選定する際に、**価格と技術の両面での競争原理を働かせて費用対効果に優れた民間事業者を選定するため、性能発注方式による契約とすること**です。
- (3) 三つ目は、老朽インフラ対策の根幹となるストックマネジメントを長期的な視点から実施するため、「更新・補修工事の設計と施工の実施」を除くほぼ全ての業務について、つまり、**点検・調査業務、ストックマネジメント業務、更新・補修工事の発注者支援業務（要求水準書の作成、工事の監督と検査の代行）**について、**長期契約による包括的民間委託とすること**です。

下図は、性能発注方式による取り組み方、民間事業者の創意工夫、長期契約による包括的民間委託をキーワードとして、それぞれの関係性を示したものです。



自治体が上記の三つの基本的な取り組み方に基づく老朽インフラ対策を実施する際に、最も効果的かつ効率的な方法は、千葉県柏市の「柏市公共下水道管路施設包括的予防保全型維持管理業務委託」による**第二期5か年事業（2022年12月～2027年11月）における取り組み方（つまり、要求水準書と契約書の記載方法及記載内容）**を参照して、自治体の老朽インフラ対策実施体制を確保していくといった方法です。

ちなみに、柏市の要求水準書と契約書における「更新工事の設計と施工の実施を含めた全体の枠組み」をそのまま踏襲した場合には、包括的民間委託の受託業者の中に、更新工事の設計業者と施工業者が含まれていることが必須となるため、**受託業者の選定時に一者応礼となるリスクが高くなります。**

そこで、柏市の要求水準書と契約書における「更新工事の設計と施工の実施に係る枠組み」以外の枠組みを踏襲するとともに、「更新工事の設計と施工の実施に係る枠組み」に準じた「更新工事の発注者支援業務」を、包括的民間委託の中で実施するといった取り組み方であれば、包括的民間委託の受託業者の中に、更新工事の設計業者と施工業者を含める必要が無いため、**受託業者選定時に一者応礼となるリスクは大幅に減少します。**また、発注者支援業務で作成する要求水準書に基づく性能発注方式による一般競争入札等で、更新工事の受託業者を幅広く募れば、**価格と技術の両面での競争原理が働いて費用対効果に優れた業者を選定できるようになります。**

なお、技術士協同組合では、自治体が上記の取り組み方による包括的民間委託を実現していく上で欠かせない「要求水準書と契約書の作成」を支援することができます。具体的には、**性能発注方式による要求水準書と契約書の作成経験が豊富な組合加入技術士が現地の自治体に赴き、これまでの発注に用いられた仕様書と契約書の記載内容を詳細に調べた上で、上記の(1)から(3)を実現するための要求水準書と契約書の基本部分をまとめて上げる**ものです。このような支援は、120人日～150人日程度の技術士活動に要する費用（技術士報酬、旅費宿泊費、交通費）で可能です。

技術士協同組合

【テ - マ】 戦略的なインフラマネジメントを担う自治体の体制の確保 / スモールコンセッションの推進 / グリーン社会の実現 / その他（ ）

【対象施設】 道路 / 橋梁 / 公園 / 上下水道 / 河川 / 港湾 / 遊休施設 / その他（ ）

技術職員不在の自治体に適した包括的民間委託手法(2/2)

【事業方式】 コンセッション / その他のPFI / 包括的民間委託 / その他（ ）

千葉県柏市の「柏市公共下水道管路施設包括的予防保全型維持管理業務委託」における取り組み方（要求水準書、契約書）をモデルとして、橋梁や道路等の老朽インフラ対策（点検・調査、更新・補修工事の設計と施工）に向けて、自治体職員が現場に赴く必要が殆ど無く、費用対効果に優れた包括的民間委託の手法を提案します。

②提案内容（つづき）

【これまでの実施体制】

①【点検・調査】自治体の点検・調査計画に基づき、今年度に点検・調査すべき対象をリストアップして点検・調査方法を規定した業務委託仕様書を作成する。そして、一般競争入札等により受託業者を選定して、単年度契約により点検・調査業務を委託する。

➡ 自治体職員が委託成果物を検査する。

②【設計】①の点検・調査の結果、更新・補修工事が必要と判明した対象については、個々の対象ごとに、更新・補修工事に必要となる工事設計図書を作成するための業務委託仕様書を作成する。そして、一般競争入札等により設計業者を選定して、単年度契約により設計業務を委託する。➡ 自治体職員が委託成果物を検査する。

③【施工】②で作成した工事設計図書の施工図面等に基づき工事仕様書を作成するとともに、工事設計図書の設計価格に基づき予定価格を策定する。そして、一般競争入札等により施工業者を選定して、単年度契約により更新・補修工事を施工させる。

➡ 自治体職員が工事の監督と検査を実施する。

【提案する手法による実施体制】

①【包括的民間委託受託業者の選定】橋梁や道路などの老朽インフラ対策を主眼とする包括的民間委託について、提案する手法により作成した要求水準書と契約書(案)に基づき、一般競争入札等により受託業者を選定する。

②【包括的民間委託の実施】包括的民間委託の受託業者は、委託対象の点検・調査業務、ストックマネジメント業務、更新・補修工事の発注者支援業務（要求水準書の作成、工事の監督と検査の代行）について、年度ごとに発注者の承認を得て実施し、その結果を発注者に報告する。➡ 発注者支援業務は、点検・調査を実施した結果、速やかな更新・補修工事の必要性が判明した場合に、発注者の承認を得て実施する。

③【要求水準書に基づく更新・補修工事の発注と実施】包括的民間委託の受託業者が作成した要求水準書に基づき、自治体は、性能発注方式による更新・補修工事の受託業者を、一般競争入札等により選定する。➡ 契約締結後における工事の監督と検査などは、発注者支援業務の一環として、要求水準書を作成した「包括的民間委託の受託業者」が自治体を代行する。

【先進性】

提案する手法は、千葉県柏市の公共下水道管路施設の包括的民間委託での取り組み方をモデルとしていますが、橋梁や道路といった各種の老朽インフラを対象として、点検・調査業務、ストックマネジメント業務、更新・補修工事の発注者支援業務（要求水準書の作成、工事の監督と検査の代行）について、長期契約による包括的民間委託とするものです。ここで、包括的民間委託における性能発注方式による発注者支援業務については、過去に例が無い取り組み方であるといえます。

【有効性】

提案する手法は、費用対効果に優れた老朽インフラ対策を合理的かつ効率的に推進できるので、自治体の発注業務負担が激減するとともに自治体の財政難が緩和され、地域企業の創意工夫を存分に活かすことができ、地域住民の生活基盤の安定に繋がります。

【汎用性】

提案する手法は、自治体の規模や立地条件などを問いませんので、どの自治体でも各種の老朽インフラ対策の推進に用いることができます。